

西日本高速道路株式会社四国支社入札監視委員会審議概要

開催日及び場所	令和5年1月30日(月) 四国支社会議室	
出席委員 (五十音順・敬称略)	井面 仁志(香川大学教授) 岡村 未対(愛媛大学教授) 柴田 潤子(香川大学教授) 成行 義文(徳島大学名誉教授) 藤本 邦人(弁護士) 松本 龍太(弁護士)	
審議対象期間	令和4年4月1日～令和4年9月30日	
抽出件数/対象件数	6件/65件	件名等
工 事	一般競争入札 条件付 一般競争入札 指名競争入札 随意契約	1件/3件 2件/16件 0件/0件 1件/5件
調査等	1件/21件	・徳島自動車道 脇工事 ・松山自動車道 大地川橋他4橋耐震補強工事 ・令和4年度 四国支社管内標識取替工事 ・該当なし ・令和4年度 四国支社管内 伝送設備改造工事 ・松山自動車道 小田川夜風橋他3橋基本詳細設計
維持管理役務、 物品・役務	1件/20件	・高知高速道路事務所 規制材購入
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	回答
	<p>【入札監視事務局からの報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見・質疑なし <p>【運用状況等について】</p> <p><一次苦情及び一次説明処理状況の報告></p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査等において、他の案件と同じ申請書類を提出し、指名と非指名になるのは何故でしょうか。 <p>【抽出事案の審議】</p> <p><一般競争入札方式></p> <p>【徳島自動車道 脇工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術評価点が、各者ともに差がついていないのは何故でしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> ・工事が定型的であり、施工上、技術力に心配がないとの判断であれば問題はないが、難易度の高い部分を含む工事の場合、どこに反映されるのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当該案件については、申請者が多数の場合は技術審査の点数が上位の者を指名することになっており、案件毎の参加者に違いがあるため、結果的に上位に入れた案件と入れなかった案件となったものです。 ・評価項目として、安全に関することと品質に関することについて、提案を求め、技術審査の結果、各者共に減点がなかったからです。 ・施工上、難易度の高い部分を含む工事については、施工方法等の技術提案を求め、技術審査を行い評価しています。

	<p>・今回は、難易度の高い設定ではなかったため、差が付かなかったという認識で良かったでしょうか。</p> <p><条件付一般競争入札方式> 【松山自動車道 大地川橋他 4 橋耐震補強工事】</p> <p>・入札状況調書の「落札者としいない」としている理由は、何でしょうか。</p> <p>【令和 4 年度 四国支社管内標識取替工事】</p> <p>・技術評価点が高く、最低入札価格である者は、低入札価格調査を行うのでしょうか。</p> <p><随意契約方式> 【令和 4 年度 四国支社管内 伝送設備改造工事】</p> <p>・意見・質疑なし</p> <p><調査等> 【松山自動車道 小田川夜風橋他 3 橋基本詳細設計】</p> <p>・1 者辞退しているが、理由は何でしょうか。</p> <p>・1 者入札の場合、優秀な業者であればよいが、そうでない場合もあると思われまます。そもそもなぜ応募数が少ないのか、要因は分りますか。また、1 者入札の状況が、多発するのは、よろしくないと思えるが、どう思われまますか。</p>	<p>・そのとおりです。</p> <p>・価格落札方式において、入札金額が契約参考価格以下、審査対象基準価格以上の範囲内の者がいた場合は、審査対象基準価格以下の金額で入札した者を落札者としいないこととしております。</p> <p>・総合評価落札方式において、技術評価点と価格評価点を合わせた評価値が一番高い者が、審査対象基準価格を下回っていた場合は、低入札価格調査を行います。</p> <p>・手持ち業務量が多くなり、施行体制が整わないと確認しております。</p> <p>・過去の実績から、同種業務の実績のある者が 30 者程度いれば、少なくとも数者は参加していた状況でした。今回も参加資格要件を満たす者が 30 者弱いることが、確認できたため、複数者の参加を見込んでいたところ、結果として 1 者のみとなったものです。また、参加されなかった者から、発注時期の問題との声もお聞きしたので、参加資格要件等も含め、工夫していきたいと考えまます。</p>
--	--	--

	<p><維持管理役務及び物品・役務> 【高知高速道路事務所 規制材購入】</p> <ul style="list-style-type: none">・購入のサイクルはあるのでしょうか。・事前に定期的に購入する又はまとめて大量に購入するということは考えていないのでしょうか。	<ul style="list-style-type: none">・定期的に点検を行い、古いものから購入するようにしています。・点検を行い購入するものの数量を事前に把握しておき、基本的には年1回又は2年に1回、まとめて購入しています。
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	